

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎援護の経費

行旅病人死亡人援護事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 行旅病人、行旅死亡人等及び同伴者

意図 行旅病人等の救護等のため。

効果 行旅病人等の救護等を図る。

【事業の内容】

(1) 行旅病人死亡人援護事業

- ・行旅病人の援護を行う。(平成20年度は援護対象者なし。)
- ・行旅死亡人の火葬、官報登載、遺骨の保管等を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,255	1,255	790		465

主な支出内訳

・行旅病人死亡人援護事業

遺骨保管謝礼

92

官報登載広告料

28

移送及び火葬等業務委託料

670

主な特定財源

・国県支出金

221

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-10 行旅病人死亡人援護事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	0012 行旅病人死亡人援護事業					
主管課	生活福祉課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	行旅病人及び行旅死亡人取扱法第2条の行旅病人の救護及び同法第7条による行旅死亡人の援護等を行う。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	790千円	556千円	569千円			
	(国・県)	221千円	696千円	456千円			
	(負担金等)						
	(一般財源)	569千円	▲140千円	113千円			
	人員配置数	0.4人	0.4人	0.4人			
	人件費	3,750千円	3,861千円	3,813千円			
協働の パートナー	無	無	無				
事務事業 運営経費	総事業費	4,540千円	4,417円	4,382円			
	市民1人当 りの経費	26円	25円	25円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 遺骨の保管のあり方について、引き続き、検討を行うことが必要である。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 保管場所の適切な管理に努めた。墓地への埋葬などを含めて、保管のあり方を検討している。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 遺骨の保管のあり方について、引き続き、検討を行うことが必要である。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 県をはじめ、関係機関と協議を行いながら、引き続き、検討を行っていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了	B	改善の必要性 有
	遺骨の保管のあり方については、引き続き、検討を行っていきたい。		
担当課長氏名:	生活福祉課長 曾根 健治		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了	B	改善の必要性 有
	遺骨保管について、検討を行っていく。		
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子